

技術情報：
スマートワイヤレスマネージャ
SR-M630AP1、610AP1設定例
(WPA2-PSK認証、WPA3-SAE認証)

エフサステクノロジーズ株式会社

- 本設定例では、集中管理を行うスマートワイヤレスマネージャ機能を使用する場合の、SR-Mの設定手順を示します。
- SR-Mでは、設定・運用を、Web画面で行うWeb運用と、コマンドで行うCLI運用のいずれかを選択できます。ただし、CLI運用で初期設定を行った後は、Web運用に変更ができません。
スマートワイヤレスマネージャ機能を使用する場合は、Web運用となるため、初期設定はWeb画面にて行ってください。

- はじめに
- 1. システム構成、パラメータ
 - 1.1 システム構成図
 - 1.2 ソフトウェア
 - 1.3 設定パラメータ（共通設定①）
 - 1.3 設定パラメータ（共通設定②）
 - 1.3 設定パラメータ（共通設定③）
 - 1.3 設定パラメータ（SSID設定①）
 - 1.3 設定パラメータ（SSID設定②）
 - 1.3 設定パラメータ（APグループ設定①）
 - 1.3 設定パラメータ（APグループ設定②）
 - 1.3 設定パラメータ（APグループ設定③）
 - 1.3 設定パラメータ（APグループ設定④）
 - 1.3 設定パラメータ（APグループ設定⑤）
 - 1.3 設定パラメータ（AP設定①）
 - 1.3 設定パラメータ（AP設定②）
- 2. WEB画面設定
 - 2.1 初期設定の流れ
 - 2.1.1 マスタAPにてIPアドレス設定
 - (1) マスタAPと設定端末を接続
 - (2) マスタAPにログイン
 - (3) 設定方法選択
 - (4) 装置の使用方法と動作モード
 - (5) 管理パスワード、IPアドレス設定
 - (6) IPアドレス、パスワード設定
 - (7) 端末のIPアドレス設定変更
 - (8) 再度、マスタAPにログイン
 - 2.1.2 メンバAPをマスタAPと接続
 - (1) メンバAPを接続する①
 - (1) メンバAPを接続する②

- 2.1.3 マスタAPにて各種設定

- 2.1.3.1 初期セットアップの流れと主な設定内容
- 2.1.3.2 初期セットアップでの注意事項
- 2.1.3.3 共通設定
 - (1) 共通設定（管理者パスワード）
 - (2) 共通設定（基本情報）
 - (3) 共通設定（認証サーバ情報）
 - (4) 共通設定（MACアドレスリスト）
 - (5) 共通設定（SNMP情報）
 - (6) 共通設定（アクセス制限）①
 - (6) 共通設定（アクセス制限）②
 - (6) 共通設定（アクセス制限）③

- 2.1.3.4 SSID設定

- (1) SSID設定の流れ
- (2-1) SSID設定【sample5G】（基本設定）①
- (2-1) SSID設定【sample5G】（基本設定）②
- (2-2) SSID設定【sample5G】（MACアドレスフィルタ設定）
- (3-1) SSID設定【sample5G】（確認、新規追加）
- (3-2) SSID設定【sample2G】（基本設定）①
- (3-2) SSID設定【sample2G】（基本設定）②
- (3-3) SSID設定【sample2G】（MACアドレスフィルタ設定）
- (4) SSID設定（確認）

- [2.1.3.5 APグループ設定](#)

- (1) APグループ設定の流れ
- (2-1) APグループ設定【group1】(APグループ基本設定)
- (2-2) APグループ設定【group1】(無線LAN設定) ①
- (2-2) APグループ設定【group1】(無線LAN設定) ②
- (2-3) APグループ設定【group1】(使用SSID)
- (2-4) APグループ設定【group1】(Etherポート設定) ①
- (2-4) APグループ設定【group1】(Etherポート設定) ②
- (2-5) APグループ設定【group1】(その他)
- (3) APグループ設定 (確認)

- [2.1.3.6 AP設定](#)

- (1) AP設定の流れ
- (2-1) AP設定【マスタAP】
- (2-2) AP設定【マスタAP】(AP基本設定)
- (2-3) AP設定【マスタAP】(無線LAN設定)
- (2-4) AP設定【マスタAP】(設定終了)

(3) AP設定【ap2】(メンバAP追加) ①

(3) AP設定【ap2】(メンバAP追加) ②

(3) AP設定【ap2】(メンバAP追加) ③

(3) AP設定【ap2】(メンバAP追加) ④

(3) AP設定【ap2】(メンバAP追加) ⑤

(3) AP設定【ap2】(メンバAP追加) ⑥

- [2.1.4 マスタAPから設定反映](#)

- [2.1.4.1 設定反映](#)

(1) 設定反映①

(1) 設定反映②

(1) 設定反映③

(1) 設定反映④

(1) 設定反映⑤

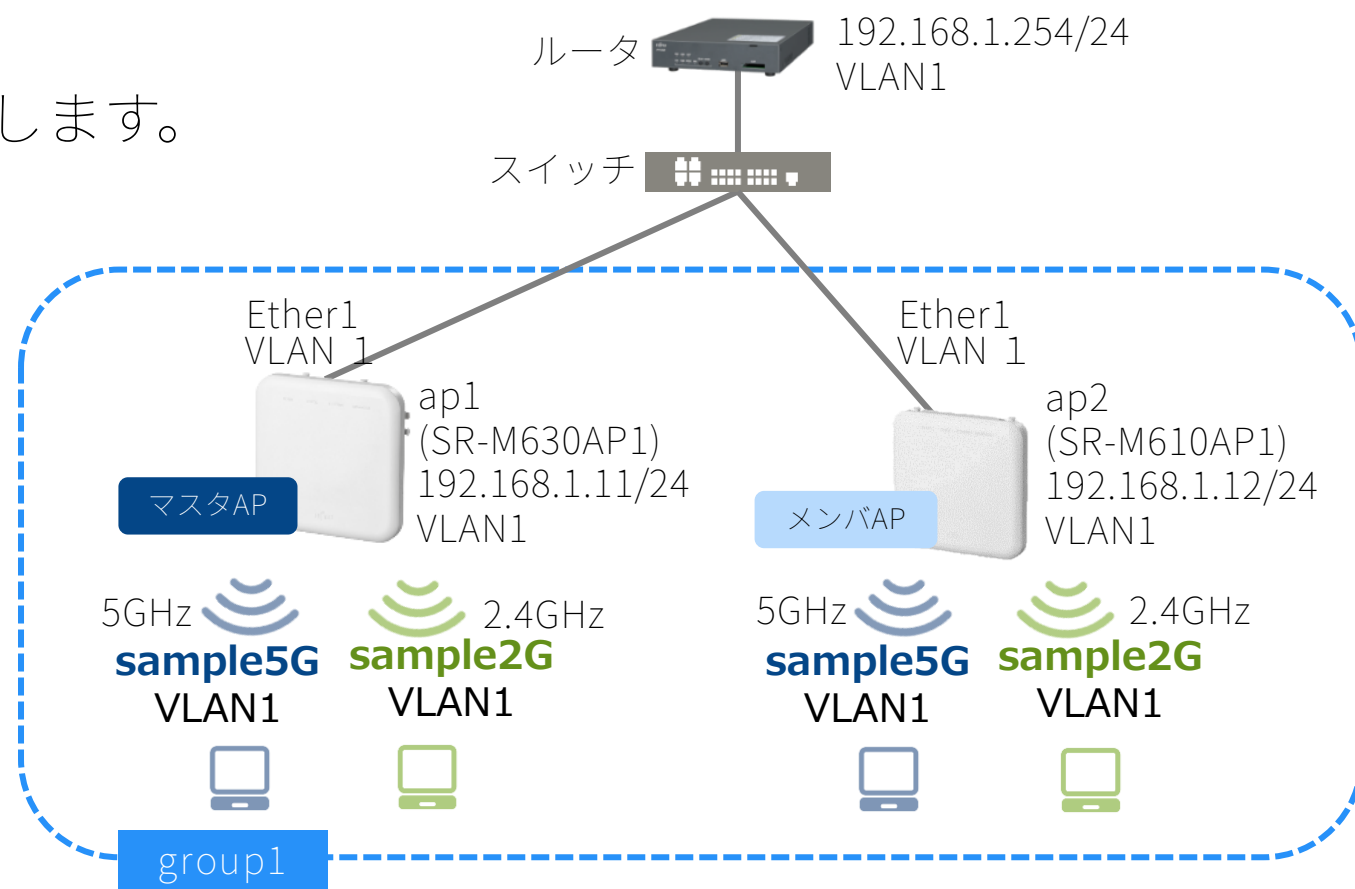
- [2.1.4.2 設定管理情報の退避](#)

- 3. 設置と設置後の確認
 - 3.1 AP設置
 - 3.2 設置後の確認
 - 3.3 チャンネル最適化の実行
 - 3.4 端末接続の確認

1. システム構成、パラメータ

1.1 システム構成図

- スマートワイヤレスマネージャ機能により、2台のSR-Mを集中管理します。
- SR-M630AP1、SR-M610AP1のEther 1ポートを使用して有線LANと接続します。
- 無線LANは2.4GHz帯と5GHz帯を使用します。
- 5GHz帯のSSIDは、「WPA3-SAE認証」を設定します。
- 2.4GHz帯のSSIDは、WPA3-SAE認証に未対応の端末も接続できる例として、「WPA2-PSK認証またはWPA3-SAE認証の自動判別」を設定します。



- ソフトウェア版数：V20.12
 - マスタAPとメンバAPのソフトウェアは同じ版数に揃える必要があります。

1.3 設定パラメータ（共通設定①）

- はじめに

設定方法	新規に設定を行います。	新規に設定を行うため、選択します。
使用方法	集中管理モード（スマートワイヤレスマネージャ）	マスタAPで集中管理するモードを選択します。
動作モード	マスタAPモード	マスタAPとして設定するため、マスタAPモードを選択します。
管理者パスワード	password	管理画面にログインするときのパスワードです。
IPアドレス/マスクビット数	192.168.1.11/24	マスタAPのIPアドレスです。

- 基本情報

マスタAPの時刻設定	手動設定	NTPサーバを使用しないため、手動設定を選択します。設定端末の現在時刻を反映します。
システムログサーバ	☐ 使用する	システムログサーバを使用しないため、チェックを入れません。
NXconcierge連携	☐ 連携する	NXconcierge連携を行わないため、チェックを入れません。

- 認証サーバ情報

RADIUS認証機能	使用しない	認証サーバを使う認証方式を使用しないため、RADIUS認証機能は使用しません。
------------	-------	---

1.3 設定パラメータ（共通設定②）

- MACアドレスリスト

MACアドレスフィルタ機能	使用しない	MACアドレスフィルタ機能を使用しません。
---------------	-------	-----------------------

- SNMP情報

SNMPエージェント機能	使用しない	SNMPを使用しません。
--------------	-------	--------------

1.3 設定パラメータ（共通設定③）

• アクセス制限

TELNETサーバ機能	使用しない	本設定例では使用しません。
SSHサーバ機能	使用する	管理機能で使用するため、設定変更できません。
FTPサーバ機能	使用する	マスタAPでは管理機能で使用するため、必ず「使用する」になります。
SFTPサーバ機能	使用する	本設定例では初期値のまま使用します。
HTTPサーバ機能	使用する	HTTPとHTTPSは同時に使用停止にできないため、どちらかを必ず「使用する」にします。
HTTPSサーバ機能	使用する	
SNTPサーバ機能	使用しない	マスタAPでは必ず「使用する」になります。
アクセス許可リスト	使用する	セキュリティを高めるために、マスタAPへHTTP/HTTPS接続できるIPアドレスを設定します。
送信元IPアドレス/マスクビット数	192.168.1.0/24	マスタAPへHTTP/HTTPS接続を許可するIPアドレスを、マスタAPと同じネットワークのIPアドレスに制限します。

1.3 設定パラメータ（SSID設定①）

• SSID : sample5G

SSID	sample5G	SSID名です。
無線モジュール	5GHz(1)	5GHzを使用します。 スマートワイヤレスマネージャでは、SR-M630AP1は、5GHz(1)が5GHzのW52/53を使用します。SR-M610AP1は、5GHzが5GHzのW52/53/56を使用します。
SSID非通知（ステルス）機能	無効	無線LAN端末のSSID一覧に表示されない（＝ステルス）をする必要がないため、無効にします。
認証	WPA3 Personal	WPA3による事前共有キー(SAE)認証を行います。
暗号化	AES	高セキュリティであるAESを選択します。
事前共有キー	cj pqsr lmt favzud nxhwoikbyge	無線LAN端末がSSIDに接続するときに入力するパスワードです。
管理フレーム保護	有効（必須）	無線LAN通信の管理フレームを暗号化します。
VLAN ID	1	接続した無線LAN端末のVLAN IDです。
MACアドレスフィルタ機能	使用しない	無線LAN端末のMACアドレスによるフィルタを行いません。

1.3 設定パラメータ（SSID設定②）

- SSID : sample2G

SSID	sample2G	SSID名です。
無線モジュール	2.4GHz	2.4GHzを使用します。
SSID非通知（ステルス）機能	無効	無線LAN端末のSSID一覧に表示されない（＝ステルス）をする必要がないため、無効にします。
認証	WPA3/WPA2 Personal	WPA2による事前共有キー(PSK)認証、または、WPA3による事前共有キー(SAE)認証の自動判別の認証を行います。
暗号化	AES	高セキュリティであるAESを選択します。
事前共有キー	wqbterlmnzjfpagoihyksvudcx	無線LAN端末がSSIDに接続するときに入力するパスワードです。
管理フレーム保護	有効（オプション）	対応している無線LAN端末にて、無線LAN通信の管理フレームを暗号化します。
VLAN ID	1	接続した無線LAN端末のVLAN IDです。
MACアドレスフィルタ機能	使用しない	無線LAN端末のMACアドレスによるフィルタを行いません。

1.3 設定パラメータ（APグループ設定①）

- APグループ設定（group1）
 - APグループ基本設定

APグループ名	group1	APグループに任意の名前を付けます。
---------	--------	--------------------

1.3 設定パラメータ（APグループ設定②）

- APグループ設定（group1）
 - 無線LAN設定

チャンネル最適化			使用する	最適なチャンネルを割りあてるチャンネル最適化を使用します。
無線モジュール設定	2.4GHz	最大通信モード	Wi-Fi6（IEEE802.11ax）	Wi-Fi6（11ax）を選択します。
		チャンネルボンディング	20MHz	チャンネルボンディングを使用しないため、20MHzを選択します。
		無線送信出力	100%	100%を選択します。
	5GHz（1）	最大通信モード	Wi-Fi6（IEEE802.11ax）	Wi-Fi6（11ax）を選択します。
		チャンネルボンディング	20MHz	チャンネルボンディングを使用しないため、20MHzを選択します。
		無線送信出力	100%	100%を選択します。
	5GHz（2）	最大通信モード	使用しない	5GHzのW56である5GHz（2）を使用しないため、「使用しない」を選択します。

1.3 設定パラメータ（APグループ設定③）

- APグループ設定（group1）
 - 使用SSID

使用するSSID	sample5G sample2G	使用するSSIDを選択します。
----------	----------------------	-----------------

1.3 設定パラメータ（APグループ設定④）

- APグループ設定（group1）
 - Etherポート設定

SR-M630AP1	Etherポート使用方法	通常ポートとして使用する	通常ポートとして使用します。
	Etherポート1	有効	Etherポート1を使用します。
	ポートVLAN ID	1	ポートVLAN IDにVLAN IDを設定します。
	タグVLAN ID	(空欄)	タグVLANを使用しないため、空欄にします。
	Etherポート2	無効	Etherポート2は使用しません。
SR-M610AP1	Etherポート使用方法	通常ポートとして使用する	通常ポートとして使用します。
	Etherポート1	有効	Etherポート1を使用します。
	ポートVLAN ID	1	ポートVLAN IDにVLAN IDを設定します。
	タグVLAN ID	(空欄)	タグVLANを使用しないため、空欄にします。

1.3 設定パラメータ（APグループ設定⑤）

- APグループ設定（group1）
 - その他

端末可視化機能	使用する		端末モニタリング画面で接続無線LAN端末を表示するために、端末可視化機能を使用します。
	対象VLAN ID	1	端末可視化機能の対象とする無線LAN端末のVLAN IDを設定します。

1.3 設定パラメータ（AP設定①）

- AP設定（マスタAP）

- AP基本設定

AP名	ap1	メンバAPに任意の名前を付けます。
AP設置場所	A棟	任意で設置場所を入力ください。
所属APグループ	group1	マスタAPが所属するAPグループを選択します。
IPアドレス/マスクビット数	192.168.1.11	自動でマスタAPのIPアドレスが入力されています。
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254	デフォルトゲートウェイを入力します。
管理VLAN ID	1	VLAN IDを入力します。

- 無線LAN設定

無線LAN設定	APグループ設定に従う	APの個別設定を行わない場合、「APグループ設定に従う」を選択します。
---------	-------------	-------------------------------------

1.3 設定パラメータ（AP設定②）

- AP設定（メンバAP）

- AP基本設定

AP名	ap2	メンバAPに任意の名前を付けます。
AP設置場所	A棟	任意で設置場所を入力ください。
所属APグループ	group1	マスタAPが所属するAPグループを選択します。
IPアドレス/マスクビット数	192.168.1.12	メンバAPのIPアドレスを入力します。
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.254	デフォルトゲートウェイを入力します。
管理VLAN ID	1	VLAN IDを入力します。

- 無線LAN設定

無線LAN設定	APグループ設定に従う	APの個別設定を行わない場合、「APグループ設定に従う」を選択します。
---------	-------------	-------------------------------------

2. WEB画面設定

2.1 初期設定の流れ

マスタAPにて
IPアドレス設定
(2.1.1)



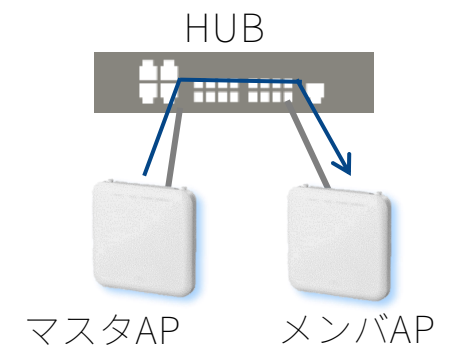
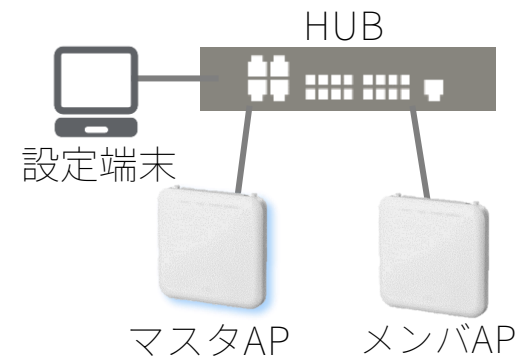
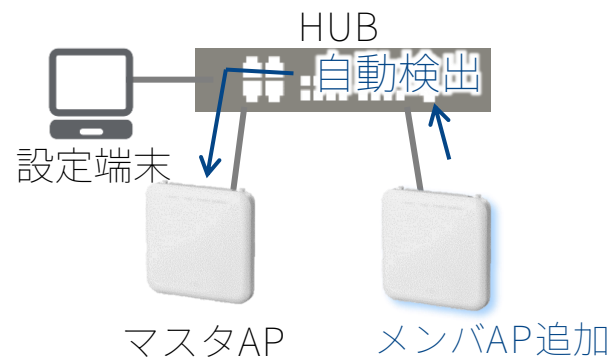
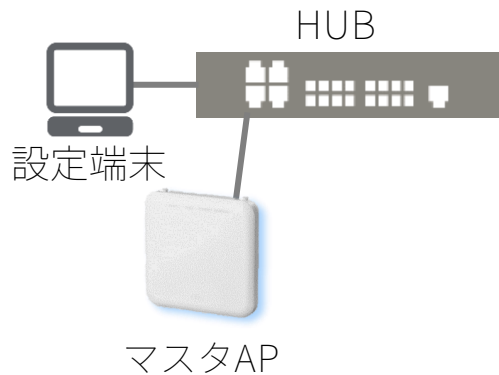
メンバAPを
マスタAPと接続
(2.1.2)



マスタAPにて
各種設定
(2.1.3)



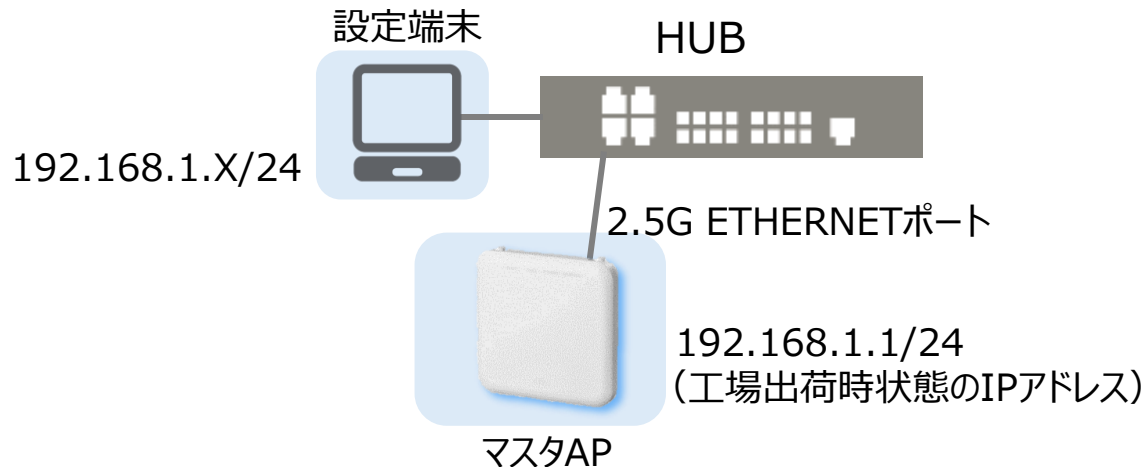
マスタAPから
設定反映
(2.1.4)



2.1.1 マスタAPにてIPアドレス設定

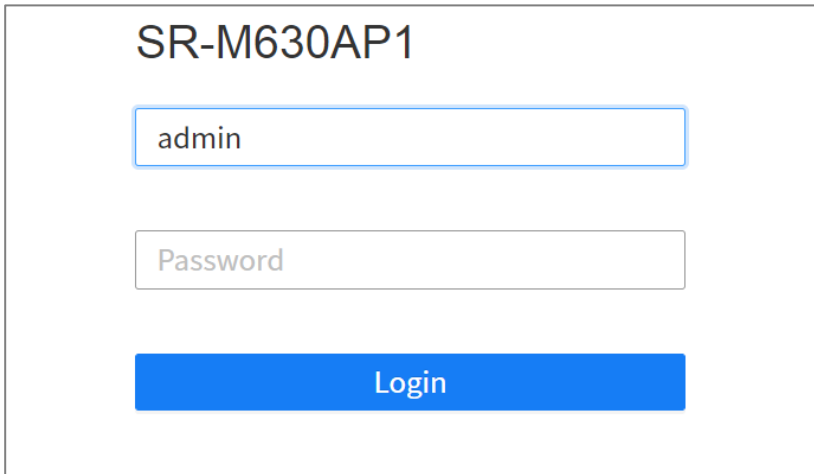
(1) マスタAPと設定端末を接続

- マスタAPにするSR-M630AP1の**2.5G ETHERNETポート**と設定端末を接続します。1G ETHERNETポートは購入時の状態では、使用しない設定になっています。
(まだメンバAPは接続しません)
- 設定端末には、SR-M630AP1工場出荷時状態の192.168.1.1/24に接続できるIPアドレスを設定します。



(2) マスタAPにログイン

- 「http://192.168.1.1」または「https://192.168.1.1」にアクセスします。
※ブラウザはChromeを使用してください。
- Usernameに「admin」、Passwordは空欄のままログインします。



SR-M630AP1

admin

Password

Login

(3) 設定方法選択

- 設定方法を選択します。
- 新規に設定をするので「新規に設定を行います。」を選択し、「次へ」をクリックします。

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
無線LANを使用した安全なネットワークを構築するために、本装置をご利用ください。

本装置の設定方法を選択してください。

☒ 新規に設定を行います。

☐ 退避した設定管理情報から復元します。

次へ

(4) 装置の使用方法和動作モード

- 「集中管理モード」、「マスタAP」を選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

はじめに

本装置は、運用方法に合わせてセットアップ方法を選択いただけます。

装置の使用方法を選択してください。

☐ 独立運用モード
単独の無線LANアクセスポイントとして使用します。

☒ 集中管理モード(スマートワイヤレスマネージャ)
複数の無線LANアクセスポイントをグループとして一括設定、集中管理します。

本装置の動作モードを選択してください。

☒ マスタAP APグループを管理するアクセスポイントとして動作します。

☐ メンバAP マスタAPに管理されるアクセスポイントとして動作します。

次へ

(5) 管理パスワード、IPアドレス設定

- 管理者パスワードを入力します。
- IPアドレスに192.168.1.11を設定します。
- 「設定」をクリックします。

はじめに(マスタAPモード)

これより、本装置をマスタAPとして集中管理モードのセットアップを開始します。
はじめにマスタAPのIPアドレスや管理者パスワードなどの基本情報を設定してください。

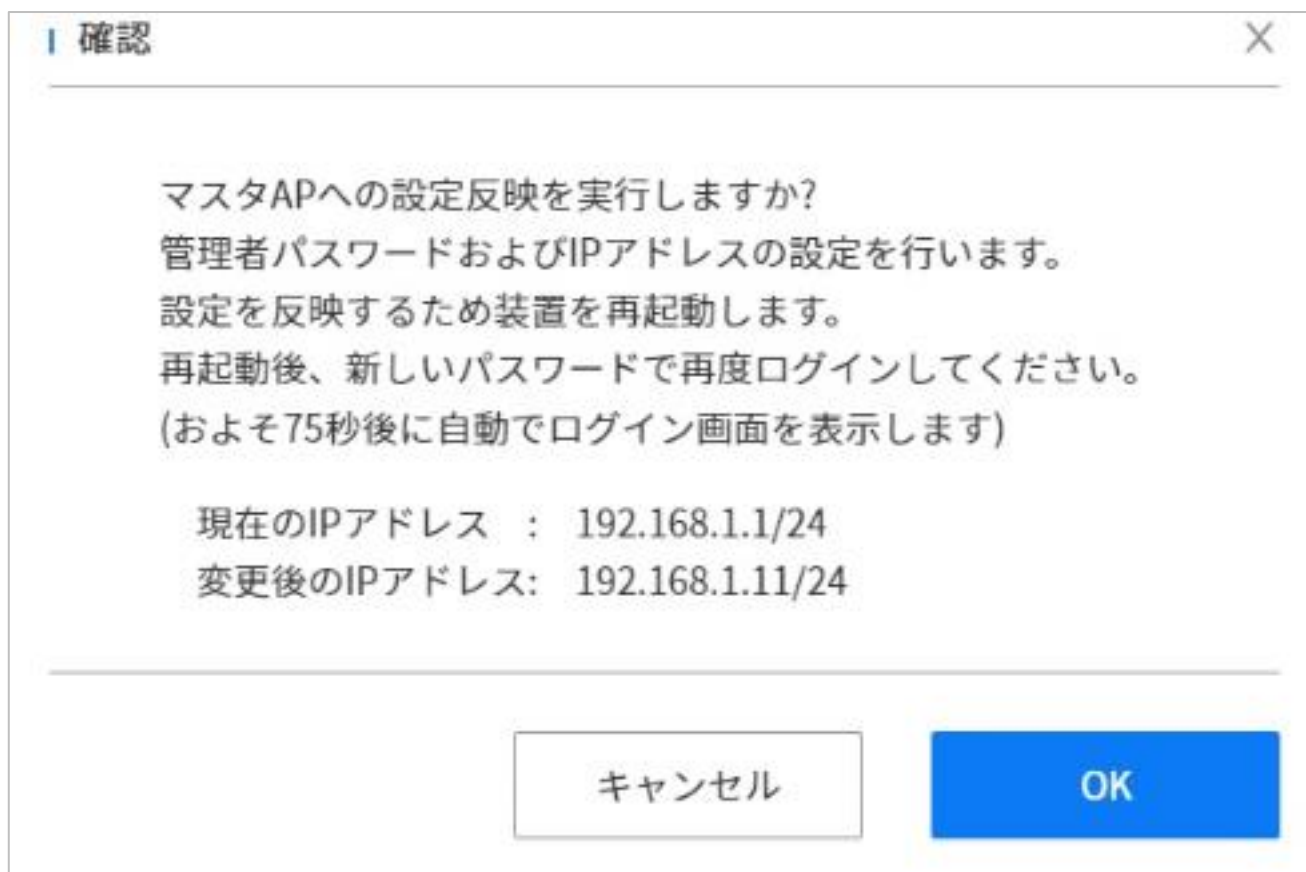
❗ メンバAPは、まだ接続しないでください。

管理者パスワード ⓘ *	
管理者パスワード(確認用) ⓘ *	
IPアドレス/マスクビット数 ⓘ *	192.168.1.11 24

設定

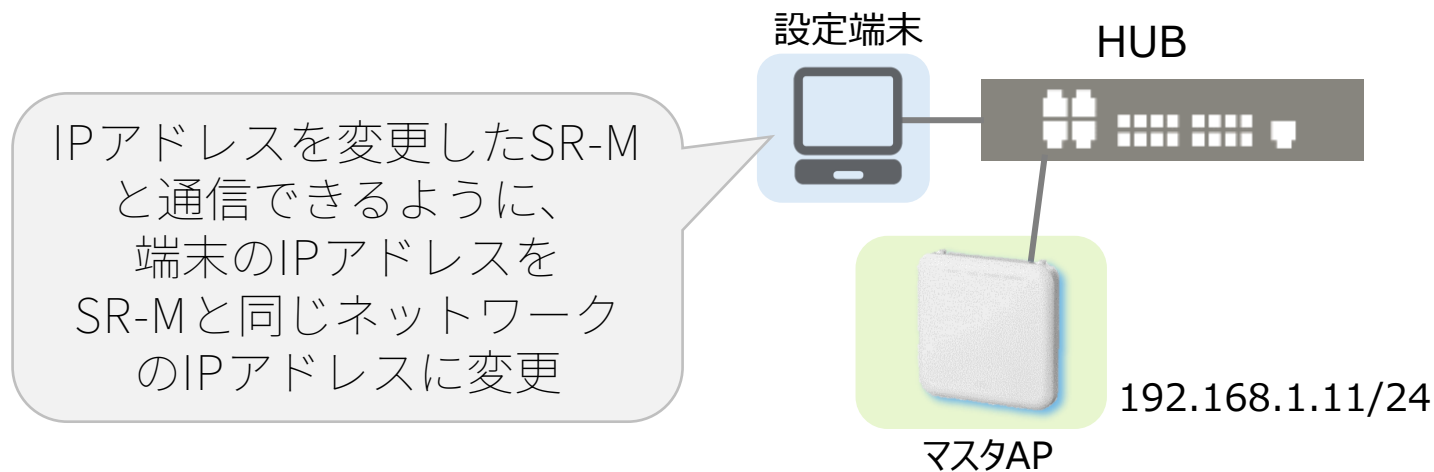
(6) IPアドレス、パスワード設定

- 「OK」をクリックしてマスタAPへ設定反映します。
- しばらく待ちます。



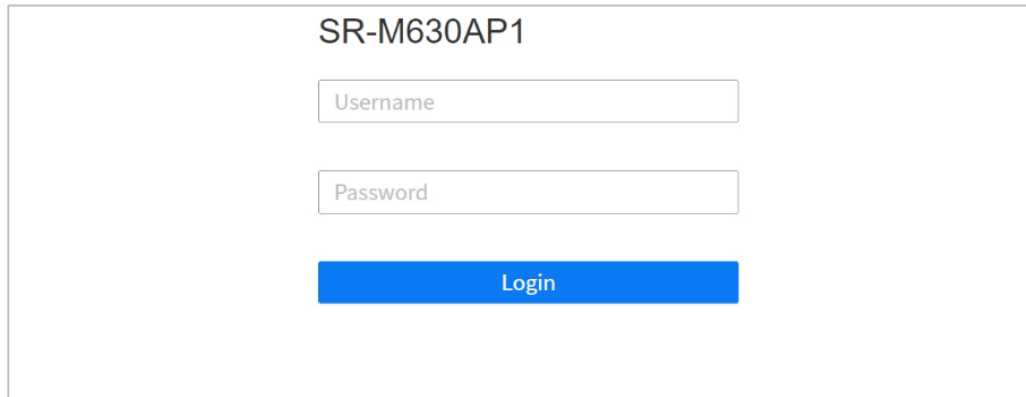
(7) 端末のIPアドレス設定変更

- APのIPアドレスが先ほど設定したものに変わります。
- 本設定例では、設定端末の現在のIPアドレスとマスタAPに設定したIPアドレスのネットワークが同じなので、設定端末のIPアドレスの変更は不要です。
- 設定端末の現在のIPアドレスとマスタAPのIPアドレスのネットワークが異なる場合は、そのままでは接続できず、Webブラウザで応答がなくなります。
再度マスタAPに接続して設定を続けるために、設定端末のIPアドレスをマスタAPと同じネットワークのIPアドレスに変更します。



(8) 再度、マスタAPにログイン

- 先程設定したIPアドレスに自動でアクセスしてログイン画面が表示されます。ログイン画面が表示されない場合は設定したIPアドレスに手動でアクセスします。
- ログインして初期設定ウィザードに沿って設定していきます。
- 設定内容は設定反映画面まで保存できません。



SR-M630AP1

Username

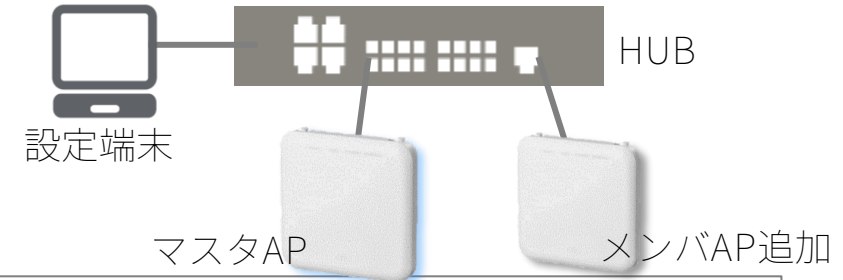
Password

Login

2.1.2 メンバAPをマスタAPと接続

(1) メンバAPを接続する①

- 以下の画面が表示されたら、同じHUBに、メンバAPとして使用するAPを購入時状態のまま接続します。
- メンバAPが接続できたら「次へ」をクリックします。



はじめに(マスタAPモード)

集中管理モードのセットアップを開始します。

設定を行うすべてのAP(メンバAP)を、本装置(マスタAP)と同一ネットワーク上に接続してください。

※セットアップ作業はマスタAPからメンバAPに対して実施します。メンバAPへのログイン操作は不要です。

メンバAPの接続が完了しましたら、次へを押してください。

❶ 初期セットアップ画面は、工場出荷状態で接続された場合のみ表示されます。

❶ 初期セットアップ実行中は画面ごとに設定内容は保存されません。設定反映画面まで進めることで設定内容は保存されます。
設定反映画面で保存した場合には、次回ログイン時に保存された状態から設定操作を再開することが可能です。

次へ

- 注意事項

- メンバAPは設定反映が終わるまで接続したままにしてください。途中で切断すると正常に設定できない場合があります。
- メンバAPとして設定したい台数を一度にスイッチングハブに接続できない場合、初期セットアップを終了した後に、AP追加手順を実施してください。メンバAPを繋ぎ変えて、初期セットアップを再度実行することはできません。

2.1.3 マスタAPにて各種設定

2.1.3.1 初期セットアップの流れと主な設定内容

共通設定

- ・管理者パスワード
- ・基本情報（時刻、syslogサーバなど）
- ・認証サーバ情報
- ・MACアドレスリスト
- ・SNMP情報
- ・自装置へのアクセス制限

SSID 設定

- ・基本情報（SSID名、使用モジュール、認証モード、暗号化方式、VLAN）
- ・MACアドレスフィルタ

AP グループ 設定

- ・APグループ名、パスワード
- ・無線LAN設定
- ・使用SSID
- ・Etherポート設定
- ・端末可視化
- ・スケジュール設定

AP 設定

- ・AP名
- ・所属APグループ
- ・IPアドレス、デフォルトゲートウェイ
- ・管理VLAN ID
- ・SNMP関連設定

設定 反映

- ファンクションキー「F5」、「戻る」、「進む」、「更新」ボタンによる操作は対応しておりません。使用しないでください。
- ブラウザ右上の「×」ボタンによる終了、およびタブの「×」ボタンによる終了は、本装置内のセッションが終了されません。
- ブラウザのタブやWindowを2つ以上立ち上げて画面操作をしないでください。
- これより先のセットアップ作業では、設定反映の画面に到達するまでの間で設定内容を保存することはできません。設定反映画面に到達する以前にブラウザを閉じたり制御端末を終了したりしないよう注意してください。
- WWWブラウザから本装置へは1ユーザのみログイン可能です。複数ユーザが同時にログインすることはできません。

共通設定

- ・管理者パスワード
- ・基本情報（時刻、syslogサーバなど）
- ・認証サーバ情報
- ・MACアドレスリスト
- ・SNMP情報
- ・自装置へのアクセス制限

SSID 設定

- ・基本情報（SSID名、使用モジュール、認証モード、暗号化方式、VLAN）
- ・MACアドレスフィルタ

AP グループ 設定

- ・APグループ名、パスワード
- ・無線LAN設定
- ・使用SSID
- ・Etherポート設定
- ・端末可視化
- ・スケジュール設定

AP 設定

- ・AP名
- ・所属APグループ
- ・IPアドレス、デフォルトゲートウェイ
- ・管理VLAN ID
- ・SNMP関連設定

設定 反映

(1) 共通設定（管理者パスワード）

- 先ほど設定した管理者パスワードが入力されているので、変更なければ「次へ」をクリックします。

共通設定

管理者パスワード

基本情報

認証サーバ情報

MACアドレスリスト

SNMP情報

アクセス制限

全グループ共通の管理者パスワードを設定してください。
管理者パスワードは別途、APグループ毎に異なるパスワードを設定することも可能です。

管理者パスワード ⓘ *

.....

管理者パスワード(確認用) ⓘ *

.....

次へ

(2) 共通設定（基本情報）

- 時刻設定方法とシステムログサーバを使用する場合は設定します。
- 本設定では使用しないためそのまま「次へ」をクリックします。

共通設定

管理者
パスワード

基本情報

認証サーバ
情報

MACアドレス
リスト

SNMP情報

アクセス制限

全グループ共通の基本情報の設定をしてください。

マスタAPの時刻設定 ⓘ

☐ 時刻サーバに同期

☒ 手動設定

2022/3/17 16:58:22

システムログサーバ ⓘ

☐ 使用する

詳細設定

次へ

(3) 共通設定（認証サーバ情報）

- IEEE802.1X認証、MACアドレス認証で認証サーバを使用する場合は、ここで先に認証サーバを設定します。
- 本設定例では使用しないため、そのまま「次へ」をクリックします。

共通設定

管理者
パスワード

基本情報

認証サーバ
情報

MACアドレス
リスト

SNMP情報

アクセス制限

全グループ共通の認証サーバ情報の設定をしてください。
認証サーバは認証サーバ(1st,2nd)とアカウントिंगサーバ(1st,2nd)をグループにして登録してください。
SSID設定で認証サーバグループを指定することで、IEEE802.1X認証やMACアドレス認証で外部認証(RADIUS)サーバを使用することができます。
認証サーバグループは最大16個まで指定することが可能です。

RADIUS認証機能 ⓘ ☐ 使用する ☒ 使用しない

次へ

(4) 共通設定 (MACアドレスリスト)

- 本設定例では、MACアドレスフィルタを使用しないため、そのまま「次へ」をクリックします。

共通設定

管理者
パスワード

基本情報

認証サーバ
情報

MACアドレス
リスト

SNMP情報

アクセス制限

全グループ共通のMACアドレスリストの設定をしてください。
SSID設定でMACアドレスリストを指定することで、端末の接続を許可または拒否することができます。
MACアドレスリストは最大16個まで指定することが可能です。

MACアドレスフィルタ機能 ☐ 使用する ☒ 使用しない

次へ

(5) 共通設定 (SNMP情報)

- 本設定例ではSNMPエージェント機能を使用しないため、そのまま「次へ」をクリックします。

共通設定

管理者
パスワード

基本情報

認証サーバ
情報

MACアドレス
リスト

SNMP情報

アクセス制限

全グループ共通のSNMP情報の設定をしてください。
SNMPマネージャからAPの稼動状態や障害状態を一元管理することができます。
本装置は、SNMPv1、SNMPv2cおよびSNMPv3をサポートします。

SNMPエージェント機能 ⓘ ☐ 使用する ☒ 使用しない

次へ

(6) 共通設定（アクセス制限）①

- 外部からアクセスされないようにするため、自装置へのアクセス制限を設定します。
- 「アクセス許可リスト」の「使用する」を選択し、「新規追加」をクリックします。

共通設定

管理者パスワード 基本情報 認証サーバ情報 MACアドレスリスト SNMP情報 **アクセス制限**

全グループ共通のサーバ機能の使用可否を設定してください。
セキュリティ向上のため、使用しないサーバ機能は無効にすることが推奨されます。

① SSHサーバは管理機能で使用するため停止できません。
① HTTPサーバとHTTPSサーバは同時に停止できません。

TELNETサーバ機能① ☐ 使用する ☒ 使用しない

SSHサーバ機能① ☒ 使用する ☐ 使用しない

FTPサーバ機能① ☒ 使用する ☐ 使用しない

SFTPサーバ機能① ☒ 使用する ☐ 使用しない

HTTPサーバ機能① ☒ 使用する ☐ 使用しない

HTTPSサーバ機能① ☒ 使用する ☐ 使用しない

SNTPサーバ機能① ☐ 使用する ☒ 使用しない

サーバ機能へのアクセス許可する端末の送信元IPアドレスのリストを設定してください。

アクセス許可リスト① ☒ 使用する ☐ 使用しない

No.	送信元IPアドレス/マスクビット数①	設定①
アクセス許可する端末の送信元IPアドレス情報がありません。		

アクセス許可する端末の送信元IPアドレス情報がありません。新規追加ボタンを押して、設定してください。

新規追加

(6) 共通設定（アクセス制限）②

- 本設定例では、マスタAPと同じネットワークのアクセスのみ許可するので、送信元IPアドレス「192.168.1.0」、マスクビット数「24」を入力します。
- 「OK」をクリックします。

アクセス許可リスト:新規追加

送信元IPアドレス/マスクビット数 ⓘ *

192.168.1.0

24

キャンセル

OK

(6) 共通設定（アクセス制限）③

- アクセス許可するIPアドレスが表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

サーバ機能へのアクセス許可する端末の送信元IPアドレスのリストを設定してください。

アクセス許可リスト① ☒ 使用する ☐ 使用しない

No.	送信元IPアドレス/マスクビット数①	設定①
1	192.168.1.0/24	変更 削除

新規追加

戻る 次へ

共通設定

- ・管理者パスワード
- ・基本情報（時刻、syslogサーバなど）
- ・認証サーバ情報
- ・MACアドレスリスト
- ・SNMP情報
- ・自装置へのアクセス制限

SSID 設定

- ・基本情報（SSID名、使用モジュール、認証モード、暗号化方式、VLAN）
- ・MACアドレスフィルタ

AP グループ 設定

- ・APグループ名、パスワード
- ・無線LAN設定
- ・使用SSID
- ・Etherポート設定
- ・端末可視化
- ・スケジュール設定

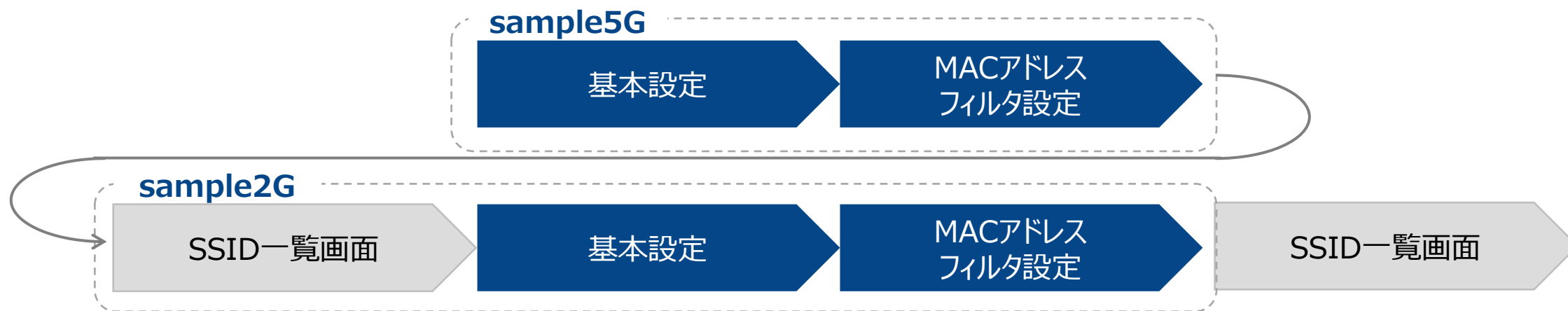
AP 設定

- ・AP名
- ・所属APグループ
- ・IPアドレス、デフォルトゲートウェイ
- ・管理VLAN ID
- ・SNMP関連設定

設定 反映

(1) SSID設定の流れ

- 本設定例では、2つのSSIDを設定します。



(2-1) SSID設定【sample5G】（基本設定）①

- SSID設定の画面に移るので、必要な項目を入力します。

SSID設定

無線アクセスポイントで使用するSSIDの設定をしてください。

基本設

普通のSSIDを設定する場合は「仮想アクセスポイント」を選択

使用方法①

仮想アクセスポイント

SSID①*

sample5G

使用無線モジュール①*

☐ 2.4GHz

☒ 5GHz(1)

☐ 5GHz(2)

SR-M630AP1では5GHz(W52/W53)を使用します。
SR-M610AP1では5GHz(W52/W53/W56)を使用します。

SSID非通知(ステルス)機能①

☐ 有効

☒ 無効

認証モード①

WPA3 Personal

暗号化方式①

AES

事前共有キー①

入力形式

テキスト

・設定内容

SSID	sample5G
無線モジュール	5GHz(1)
認証	WPA3による事前共有キー(SAE)認証
暗号化	AES
事前共有キー	cjpqsrImtfavzudnxhwoikbyge
管理フレーム保護	有効（必須）
VLAN ID	1

- 残りの項目も入力します。
- 「次へ」をクリックします。

・設定内容

SSID	sample5G
無線モジュール	5GHz(1)
認証	WPA3による事前共有キー(SAE)認証
暗号化	AES
事前共有キー	cjpqsrImtfavzudnxhw oikbyge
管理フレーム保護	有効（必須）
VLAN ID	1

管理フレーム保護 ⓘ

有効(必須) ▼

MACアドレス認証(外部認証サーバ連携) ⓘ

☐ 使用する ☒ 使用しない

VLAN設定 ⓘ

全無線LANモジュール共通 ▼

VLAN ID ⓘ *

1

詳細設定

(2-2) SSID設定【sample5G】（MACアドレスフィルタ設定）

- 本設定例では、MACアドレスフィルタは使用しないため、「使用しない」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

SSID設定

基本設定

MACアドレス
フィルタ設定

SSIDに紐づくMACアドレスフィルタの設定をしてください。
MACアドレスフィルタを使用すると、端末のMACアドレスを判別し無線LAN接続を許可・拒否することができます。

MACアドレスフィルタ機能 ⓘ ☐ 使用する ☒ 使用しない

次へ

(3-1) SSID設定【sample5G】（確認、新規追加）

- 作成した「sample5G」が表示されていることを確認します。
- 次に、SSID「sample2G」を作成するため、SSID一覧画面で「新規追加」をクリックして設定します。

SSID設定

SSIDに関する設定を追加・変更・削除できます。

SSIDは端末を無線LANネットワークを識別するために使われ、SSIDごとに認証方式やVLAN IDなどを設定することが可能です。

本機能では最大16個までSSIDを設定することができます。

設定済みのSSIDを流用して新規SSIDを作成することもできます。

SSID一覧

No.	SSID ①	使用方法 ①	使用無線モジュール ①	VLAN ID ①	認証モード ①	設定 ①
1	sample5G	仮想アクセスポイント	5GHz(1)	1	WPA3 Personal	変更 削除 流用

新規追加

- SSID設定の画面に移るので、必要な項目を入力します。

SSID設定

無線アクセスポイントで使用するSSIDの設定をしてください。

基本設定

普通の場合は「仮想アクセスポイント」を選択

使用方法①

SSID①*

使用無線モジュール①*

SSID非通知(ステルス)機能①

認証モード①

暗号化方式①

事前共有キー①

仮想アクセスポイント

sample2G

☒ 2.4GHz ☐ 5GHz(1) ☐ 5GHz(2)
SR-M630AP1では2.4GHzを使用します。
SR-M610AP1では2.4GHzを使用します。
☐ 有効 ☒ 無効

WPA2/WPA3 Personal

AES

入力形式

テキスト

設定内容

SSID	sample2G
無線モジュール	2.4GHz
認証	WPA2による事前共有キー(PSK)認証 または WPA3による事前共有キー(SAE)認証 の自動判別
暗号化	AES
事前共有キー	abcdefghijklmnopqrs tuvwxyz
管理フレーム保護	有効 (オプション)
VLAN ID	1

- 残りの項目も入力します。
- 「次へ」をクリックします。

管理フレーム保護 ⓘ

有効(オプション) ▼

MACアドレス認証(外部認証サーバ連携) ⓘ

☐ 使用する ☒ 使用しない

VLAN設定 ⓘ

全無線LANモジュール共通 ▼

VLAN ID ⓘ *

1

詳細設定

次へ

・設定内容

SSID	sample2G
無線モジュール	2.4GHz
認証	WPA2による事前共有キー(PSK)認証 または WPA3による事前共有キー(SAE)認証 の自動判別
暗号化	AES
事前共有キー	abcdefghijklmnopqrs tuvwxyz
管理フレーム保護	有効 (オプション)
VLAN ID	1

(3-3) SSID設定【sample2G】（MACアドレスフィルタ設定）

- 本設定例では、MACアドレスフィルタは使用しないため、「使用しない」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

SSID設定

基本設定

MACアドレス
フィルタ設定

SSIDに紐づくMACアドレスフィルタの設定をしてください。
MACアドレスフィルタを使用すると、端末のMACアドレスを判別し無線LAN接続を許可・拒否することができます。

MACアドレスフィルタ機能 ⓘ ☐ 使用する ☒ 使用しない

次へ

(4) SSID設定（確認）

- SSID一覧画面で設定したSSIDが表示されていることを確認し、「APグループ設定へ」をクリックします。

SSID設定

SSIDに関する設定を追加・変更・削除できます。

SSIDは端末を無線LANネットワークを識別するために使われ、SSIDごとに認証方式やVLAN IDなどを設定することが可能です。

本機能では最大16個までSSIDを設定することができます。

設定済みのSSIDを流用して新規SSIDを作成することもできます。

SSID一覧

No.	SSID ①	使用方法 ①	使用無線モジュール ①	VLAN ID ①	認証モード ①	設定 ①
1	sample5G	仮想アクセスポイント	5GHz(1)	1	WPA3 Personal	変更 削除 流用
2	sample2G	仮想アクセスポイント	2.4GHz	1	WPA2/WPA3 Personal	変更 削除 流用

新規追加

共通設定へ

APグループ設定へ

2.1.3.5 APグループ設定

共通設定

- ・管理者パスワード
- ・基本情報（時刻、syslogサーバなど）
- ・認証サーバ情報
- ・MACアドレスリスト
- ・SNMP情報
- ・自装置へのアクセス制限

SSID 設定

- ・基本情報（SSID名、使用モジュール、認証モード、暗号化方式、VLAN、
- ・MACアドレスフィルタ

AP グループ 設定

- ・APグループ名、パスワード
- ・無線LAN設定
- ・使用SSID
- ・Etherポート設定
- ・端末可視化
- ・スケジュール設定

AP 設定

- ・AP名
- ・所属APグループ
- ・IPアドレス、デフォルトゲートウェイ
- ・管理VLAN ID
- ・SNMP関連設定

設定 反映

(1) APグループ設定の流れ

- 本設定例では「group1」の1つのAPグループを作成します。



(2-1) APグループ設定【group1】（APグループ基本設定）

- APグループ名を任意に入力します。
- 「次へ」をクリックします。

APグループ設定

APグループ
基本設定

無線LAN
設定

使用SSID

Etherポート
設定

その他

APグループ名とログインパスワードを設定してください。

APグループ名 ⓘ *

group1

管理用パスワード ⓘ

☒ 共通設定に従う ☐ グループ個別に設定する

一般ユーザ ⓘ

☐ 使用する

ログインユーザのRADIUS認証 ⓘ

☐ 使用する ☒ 使用しない

次へ

(2-2) APグループ設定【group1】（無線LAN設定）①

- 本設定例では、チャンネルは、チャンネル最適化による自動割り当てを使用します。
- 「チャンネル最適化」にて「使用する」を選択します。

APグループ設定

APグループ基本設定

無線LAN設定

使用SSID

Etherポート設定

その他

無線LANの設定をしてください。

使用するアンテナ①

☒ 内蔵 ☐ 外付け

144チャンネル①

☒ 使用する ☐ 使用しない

チャンネル最適化①

☒ 使用する ☐ 使用しない

定期実行①

☐ する

☒ しない

使用するチャンネルリスト①

2.4GHz①

帯域幅(20MHz)時

1,6,11

5GHz(W52/W53)①

帯域幅(20MHz)時

☒ 36 ☒ 40 ☒ 44 ☒ 48 ☒ 52 ☒ 56 ☒ 60 ☒ 64

帯域幅(40MHz)時

☒ 36/40 ☒ 44/48 ☒ 52/56 ☒ 60/64

5GHz(W56)①

帯域幅(20MHz)時

☒ 100 ☒ 104 ☒ 108 ☒ 112 ☒ 116 ☒ 120 ☒ 124 ☒ 128 ☒ 132 ☒ 136 ☒ 140 ☒ 144

帯域幅(40MHz)時

☒ 100/104 ☒ 108/112 ☒ 116/120 ☒ 124/128 ☒ 132/136 ☒ 140/144

レーダ使用チャンネル回避①

☒ 使用する ☐ 使用しない

ProxyARP機能①

☐ 使用する ☒ 使用しない

エアタイムフェアネス①

☐ 有効 ☒ 無効

本設定例では、チャンネル最適化に関する以下項目については、特に変更せず初期値を使用します。

(2-2) APグループ設定【group1】（無線LAN設定） ②

- 本設定例では、以下「無線LANモジュール設定」については初期値と同じであるため変更しません。
- そのまま「次へ」をクリックします。

無線LANモジュール設定 ①

2.4GHz

5GHz(1)

5GHz(2)

最大通信モード ①

Wi-Fi6(11ax)

IEEE802.11b使用 ①

する

しない

チャンネルボンディング ①

20MHz

無線送信出力 ①

100%

2.4GHz

5GHz(1)

5GHz(2)

最大通信モード ①

Wi-Fi6(11ax)

チャンネルボンディング ①

20MHz

無線送信出力 ①

100%

2.4GHz

5GHz(1)

5GHz(2)

最大通信モード ①

Wi-Fi6(11ax)

チャンネルボンディング ①

20MHz

無線送信出力 ①

100%

無線LANモジュール	2.4GHz	5GHz（W52,53）	5GHz（W56）
最大通信モード	Wi-Fi6（IEEE802.11ax） （IEEE802.11b使用）	Wi-Fi6（IEEE802.11ax）	Wi-Fi6（IEEE802.11ax）
チャンネルボンディング	なし（20MHz）		
無線送信出力	100%		

(2-3) APグループ設定【group1】（使用SSID）

- APグループ「group1」で使用するSSIDとして、「sample5G」「sample2G」を選択します。
- 「次へ」をクリックします。

APグループ設定

APグループ
基本設定

無線LAN
設定

使用SSID

Etherポート
設定

その他

このAPグループで使用するSSIDを全て選択してください。(複数選択可能)

☒	No.	SSID ①	使用方法 ①	使用無線モジュール ①	VLAN ID ①	認証モード ①
☒	1	sample5G	仮想アクセスポイント	5GHz(1)	1	WPA3 Personal
☒	2	sample2G	仮想アクセスポイント	2.4GHz	1	WPA2/WPA3 Personal

詳細設定

戻る

次へ

62

© 2025 FsasTechnologies Inc.

(2-4) APグループ設定【group1】（Etherポート設定）①

- 本設定例では、SR-M630AP1はEtherポート1のみ使用するので、「通常ポートとして使用する」のまま、VLAN IDの項目を入力します。

APグループ設定

APグループ 基本設定 → 無線LAN 設定 → 使用SSID → **Etherポート 設定** → その他

Etherポートの設定をしてください。

SR-M630AP1

Etherポート使用方法 ① 通常ポートとして使用する ▼

Etherポート1 ① ☒ 有効 ☐ 無効

ポートVLAN ID ①

タグVLAN ID ①

Etherポート2 ① ☐ 有効 ☒ 無効

使用するSSIDに指定されたVLAN IDを自
実際に利用される設定に見直してくだ

「タグVLAN ID」に、使用するSSIDとして選択したSSIDのVLAN IDが入っています。
管理VLANや無線LAN接続端末のVLAN IDなども忘れずに入力します。
本設定例では、ポートVLANで「1」を設定しています。

- 画面スクロールすると下に「SR-M610AP1」の設定があるので、こちらも忘れずに入力します。
- 「次へ」をクリックします。

SR-M610AP1

Etherポート使用方法 ⓘ

Etherポート1 ⓘ ☒ 有効 ☐ 無効

ポートVLAN ID ⓘ

タグVLAN ID ⓘ

使用するSSIDに指定されたVLAN IDを自動入力しています。
実際に利用される設定に見直してください。

次へ

「タグVLAN ID」に、使用するSSIDとして選択したSSIDのVLAN IDが入っています。
管理VLANや無線LAN接続端末のVLAN IDなども忘れずに入力します。
本設定例では、ポートVLANで「1」を設定しています。

(2-5) APグループ設定【group1】（その他）

- 端末可視化機能、スケジュールを設定します。
- 「次へ」をクリックします。

APグループ設定

APグループ基本設定 → 無線LAN設定 → 使用SSID → Etherポート設定 → **その他**

APグループの各種詳細設定をしてください。

端末可視化機能 ① ☒ 使用する ☐ 使用しない

対象VLAN ID ① *

エージングアウト時間(日数) ① ☒ する ☐ しない

スケジュール設定 ① ☐ する ☒ しない

次へ

端末可視化機能は端末モニタリングで使用するため、「使用する」のままにします。

SSID、EtherポートのVLAN IDが自動で入っています。
無線LAN接続端末のVLAN IDが含まれていれば問題ありません。

(3) APグループ設定（確認）

- 一覧画面で「group1」が作成されていることを確認できたら「AP設定へ」をクリックします。

APグループ設定

APグループを追加・変更・削除できます。

APをAPグループに所属させることで、所属するAPを同一のポリシーで管理できます。APグループで設定した構成定義は、グループに所属するAPに適用されます。

本機能では最大10個までAPグループを設定することができます。

設定済みのAPグループを流用して新規のAPグループを作成することもできます。

APグループ一覧

APグループ名 ①	設定 ①
group1	変更 削除 流用

[新規追加](#)

AP設定へ

共通設定

- ・管理者パスワード
- ・基本情報（時刻、syslogサーバなど）
- ・認証サーバ情報
- ・MACアドレスリスト
- ・SNMP情報
- ・自装置へのアクセス制限

SSID 設定

- ・基本情報（SSID名、使用モジュール、認証モード、暗号化方式、VLAN）
- ・MACアドレスフィルタ

AP グループ 設定

- ・APグループ名、パスワード
- ・無線LAN設定
- ・使用SSID
- ・Etherポート設定
- ・端末可視化
- ・スケジュール設定

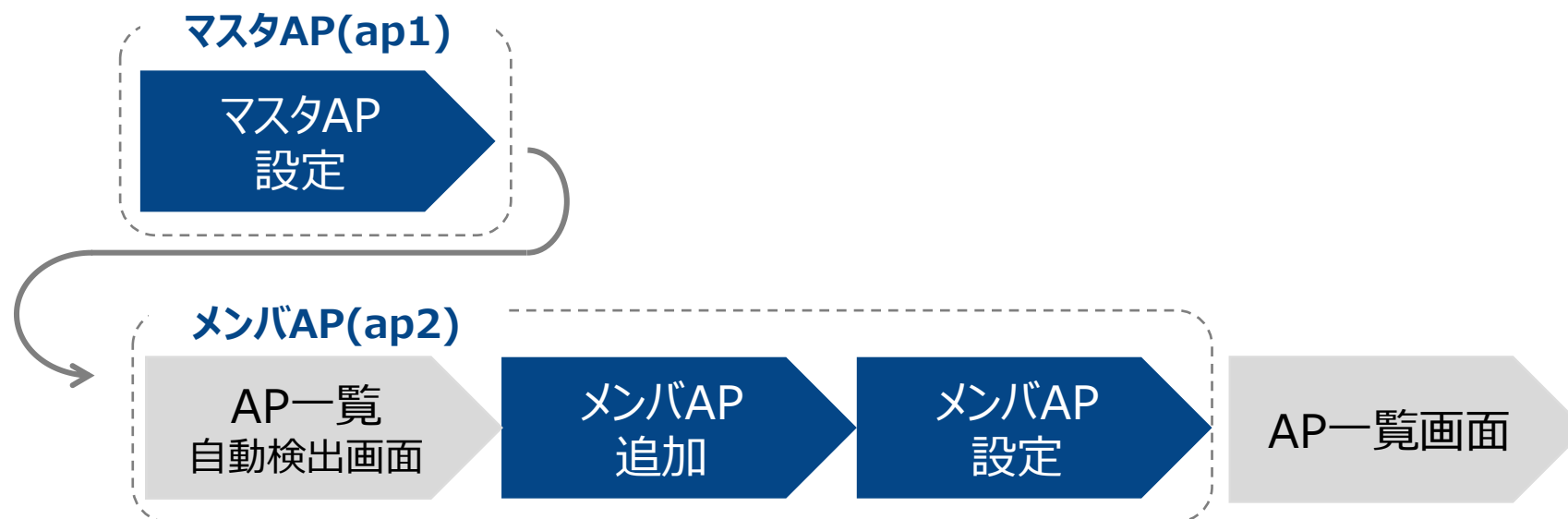
AP 設定

- ・AP名
- ・所属APグループ
- ・IPアドレス、デフォルトゲートウェイ
- ・管理VLAN ID
- ・SNMP関連設定

設定 反映

(1) AP設定の流れ

- マスタAPの設定を行い、自動検出されているメンバAPを追加します。



(2-1) AP設定【マスタAP】

- 初めにマスタAP自身のAP情報を設定します。
- 最初に設定したIPアドレスが自動で入力されているので、その他の項目を入力します。

AP設定

✓ マスタAPの基本情報を設定してください。
初回設定されたIPアドレスを表示します。

OK

APの基本情報を設定してください

機種名 ⓘ

AP名 ⓘ*

(2-2) AP設定【マスタAP】（AP基本設定）

- 最初に設定したIPアドレスが自動で入力されているので、その他の項目を入力します。
- 本設定例では、SNMPを使用しないため、「SNMP関連設定」はそのまま記入しません。
- 「次へ」をクリックします。

AP設定

AP基本設定 → 無線LAN設定

APの基本情報を設定してください。

機種名 ① SR-M630AP1 ▼

AP名 ① * ap1

AP設置場所 ① 省略可能

所属APグループ ① group1 ▼

IPアドレス/マスクビット数 ① * 192.168.1.11 24

デフォルトゲートウェイ ① 192.168.1.254

管理VLAN ID ① * 1

ランプ消灯機能 ① ☐ 使用する

SNMP関連設定

機器名称 ① ap1

機器管理者 ① 省略可能

機器設置場所 ① 省略可能

エンジンID ① 省略可能

次へ

(2-3) AP設定【マスタAP】（無線LAN設定）

- 本設定例では、AP毎に「外付けアンテナ」、「チャネル」、「無線送信出力」を設定しないため、「APグループ設定に従う」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

AP一覧 > AP設定

AP基本設定 無線LAN設定

無線LANの設定をしてください。

無線LAN設定 ①

☒ APグループ設定に従う ☐ AP個別に設定する

戻る 次へ

(2-4) AP設定【マスタAP】（設定終了）

- 「OK」をクリックします。



マスタAPの基本情報の設定は終了です。
続けてメンバAPの追加設定をしてください。

OK

(3) AP設定【ap2】（メンバAP追加） ①

- 「OK」をクリックします。



「自動検出」タブを選択すると、自動検出されたメンバAPが一覧に表示されます。
※自動検出されたメンバAPは「機種名_シリアル番号」の形式で仮のAP名で表示します
追加するAPを1台ずつ選択して基本情報の設定をしてください。
「AP一覧」タブで、APグループごとに追加されたメンバAPの確認ができます。

OK

(3) AP設定【ap2】（メンバAP追加）②

- マスタAPが先ほど指定したグループの中にあることを確認します。
- 「自動検出」タブをクリックすると自動検出したAPが表示されます。

AP設定

APグループに所属するAPを追加・変更・削除できます。

AP一覧

自動検出

APグループ名 ⓘ

設定 ⓘ

group1

AP名 ⓘ	機種名 ⓘ	シリアル番号 ⓘ	IPアドレス/マスクビット数 ⓘ	設置場所 ⓘ	
ap1 (マスタ)	SR-M630AP1		192.168.1.11/24	1階	変更 流用
					新規追加

group2

(3) AP設定【ap2】（メンバAP追加）③

- 自動検出したAPが表示されるので、APグループに所属させたいAPの「追加」をクリックします。

AP設定		
APグループに所属するAPを追加・変更・削除できます。		
AP一覧	自動検出	
AP名 ⓘ	IPv6アドレス	設定 ⓘ
SR-M610AP1_1000757	fe80::ee79:49ff:fe10:14b8	追加

(3) AP設定【ap2】（メンバAP追加）④

- メンバAPの情報を設定します。
- AP名には機種名とシリアル番号が表示されているので、「ap2」に変更し、その他の項目を入力します。
- 本設定例では、SNMPを使用しないため「SNMP関連設定」はそのままで記入しません。
- 入力したら「次へ」をクリックします。

AP設定

AP基本設定

APの基本情報を設定してください。

機種名 ① SR-M610AP1

AP名 ① * ap2

AP設置場所 ① 1階

所属APグループ ① * group1

IPアドレス/マスクビット数 ① * 192.168.1.12 24

デフォルトゲートウェイ ① 192.168.1.254

管理VLAN ID ① * 1

SNMP関連設定

機器名称 ① ap2

機器管理者 ① 省略可能

機器設置場所 ① 省略可能

エンジンID ① 省略可能

次へ

© 2025 Fsas Technologies Inc.

(3) AP設定【ap2】（メンバAP追加）⑤

- AP毎に「外付けアンテナ」、「チャネル」、「無線送信出力」を設定しない場合は、「APグループ設定に従う」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

AP一覧 > AP設定

無線LANの設定をしてください。

無線LAN設定 ①

☒ APグループ設定に従う ☐ AP個別に設定する

戻る 次へ

(3) AP設定【ap2】（メンバAP追加）⑥

- 追加したAPが選択したAPグループに入っているかを確認します。

AP設定

APグループに所属するAPを追加・変更・削除できます。

AP一覧 自動検出

APグループ名 ①

設定 ①

group1

AP名 ①	機種名 ①	シリアル番号 ①	IPアドレス/マスクビット数 ①	設置場所 ①	
ap1 (マスタ)	SR-M630AP1		192.168.1.11/24	1階	変更 流用
ap2	SR-M610AP1	1000991	192.168.1.12/24	1階	変更 削除 流用

新規追加

設定反映へ

2.1.4 マスタAPから設定反映

2.1.4.1 設定反映

共通設定

- ・管理者パスワード
- ・基本情報（時刻、syslogサーバなど）
- ・認証サーバ情報
- ・MACアドレスリスト
- ・SNMP情報
- ・自装置へのアクセス制限

SSID 設定

- ・基本情報（SSID名、使用モジュール、認証モード、暗号化方式、VLAN）
- ・MACアドレスフィルタ

AP グループ 設定

- ・APグループ名、パスワード
- ・無線LAN設定
- ・使用SSID
- ・Etherポート設定
- ・端末可視化
- ・スケジュール設定

AP 設定

- ・AP名
- ・所属APグループ
- ・IPアドレス、デフォルトゲートウェイ
- ・管理VLAN ID
- ・SNMP関連設定

設定 反映

(1) 設定反映①

- 「設定反映へ」ボタンをクリックします。

AP設定

APグループに所属するAPを追加・変更・削除できます。

AP一覧

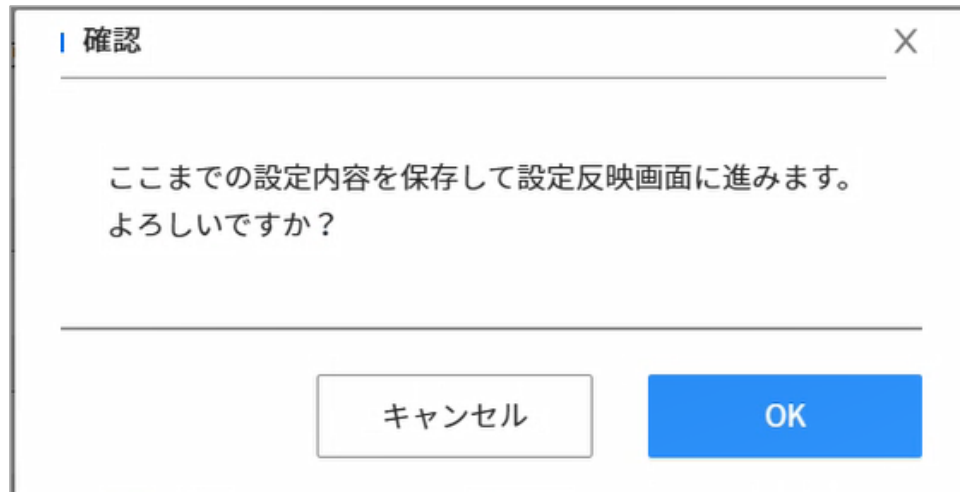
自動検出

APグループ名 ①					設定 ①
group1					
AP名 ①	機種名 ①	シリアル番号 ①	IPアドレス/マスクビット数 ①	設置場所 ①	
ap1 (マスタ)	SR-M630AP1		192.168.1.11/24	1階	変更 流用
ap2	SR-M610AP1	1000991	192.168.1.12/24	1階	変更 削除 流用
新規追加					

設定反映へ

(1) 設定反映②

- 「OK」をクリックします。



(1) 設定反映③

- 自動でエラーチェックが行われます。チェック結果が「正常」になっていることを確認し、「設定反映」をクリックします。

実行中

設定内容のチェックを実行しています。

設定反映

以下の設定内容を確認いただき、よろしければ設定反映を実行してください。
チェック結果に異常がある場合は、詳細情報を確認して設定内容を見直してください。

① AP追加時および、AP名またはエアタイムフェアネス機能の設定を変更した場合は、装置の再起動を実施します。
① 設定反映が完了すると自動的にログアウトされます。再ログイン後に設定管理情報の退避を実施いただき、退避データを保管してください。
マスタAPが装置故障した場合の復元処理や、ソフトウェアや設定内容を以前の状態に戻す場合に必要となります。

APグループ名

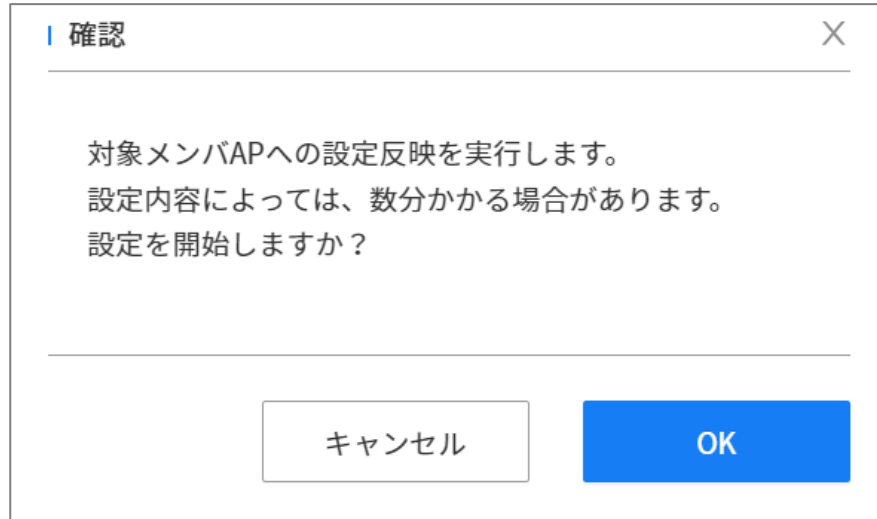
group1

AP名	変更内容	チェック結果	反映結果	機種名	シリアル番号	IPアドレス/マスクビット数	設置場所
ap2	変更	正常	反映前	SR-M610AP1	1000991	192.168.1.12/24	1階
ap1(マスタ)	-	正常	-	SR-M630AP1	1001312	192.168.1.11/24	1階

設定反映

(1) 設定反映④

- 以下のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

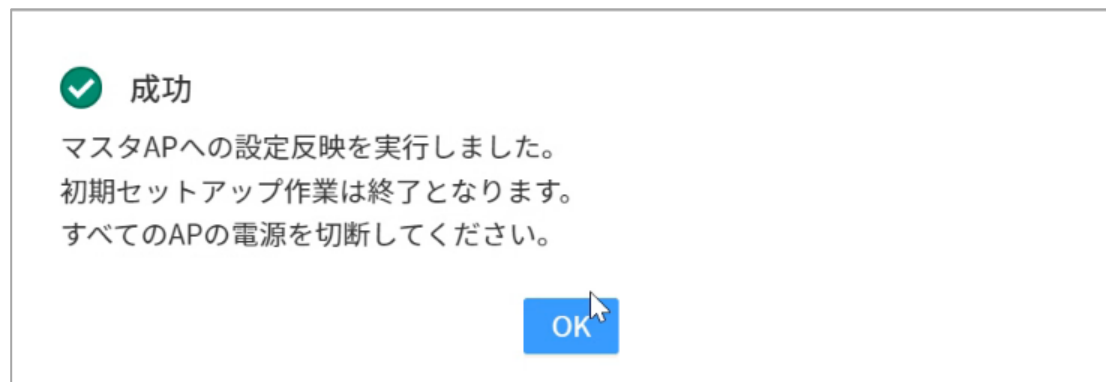


(1) 設定反映⑤

- 以下のメッセージが表示されたら「OK」をクリックします。

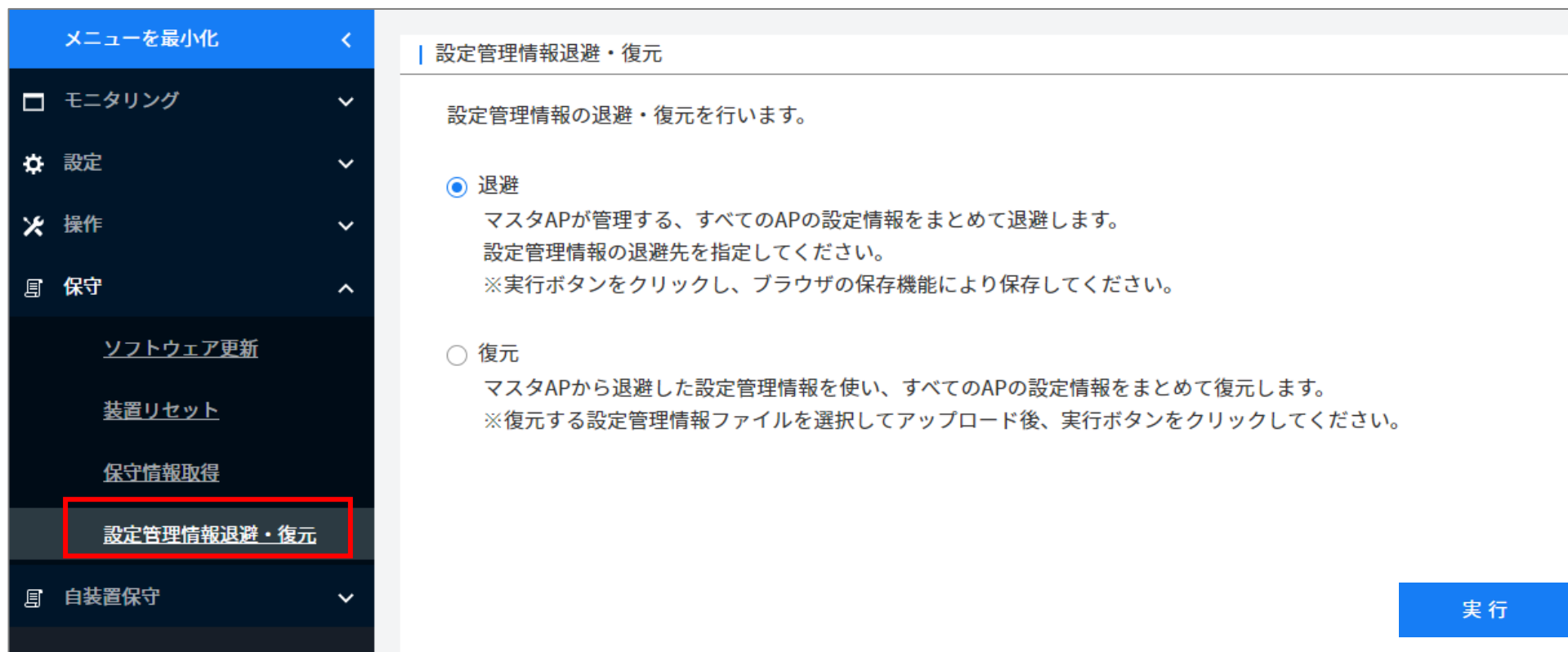


- マスタAPへの設定反映のメッセージが表示されたら初期セットアップ終了です。初期セットアップ内容は再起動で反映されるので、APの電源を切断してください。



2.1.4.2 設定管理情報の退避

- 初期セットアップ後、設定変更後は必ず設定管理情報を退避して保管してください。装置交換やトラブル時などの復旧が必要です。
- マスタAP管理画面にログインし、「保守」>「設定管理情報退避・復元」にて退避できます。



3. 設置と設置後の確認

3.1 AP設置

- APを設置します。
- どの設定内容のAPを設置するかのためにシリアル番号を確認したい場合、「APモニタリング」画面にて確認できます。



メニューを最小化

災害用Wi-Fi 停止中

モニタリング

ダッシュボード

APモニタリング

端末モニタリング

障害診断設定

設定

APモニタリング

AP情報や障害診断結果を表示します。

APグループ: すべてのグループ

AP名: すべてのAP

状態: すべて 正常 注意 異常

装置情報 通信情報(有線) 通信情報(無線) 2022/2/22 15:24:38 情報更新

☐	状態①	AP名①	設置場所①	IPアドレス①	機種名①	シリアル番号①	バージョン①
☐	● 詳細	ap1 (マスタ)	1階	192.168.1.11	SR-M630AP1	1000346	V20.05 IT0025
☐	● 詳細	ap2	1階	192.168.1.12	SR-M610AP1	1000991	V20.05 IT0025

3.2 設置後の確認

- APを設置して接続後、マスタAPとメンバAPが通信できていることを確認します。
- AP一覧画面にてAPの診断結果が「正常」の緑マークになっていることを確認します。

APモニタリング

AP情報や障害診断結果を表示します。

APグループ

すべてのグループ

AP名

すべてのAP

状態

すべて

● 正常

● 注意

● 異常

装置情報

通信情報(有線)

通信情報(無線)

2022/2/22 15:24:38

情報更新

☐	状態①	AP名①	①	設置場所①	①	IPアドレス①	①	機種名①	①	シリアル番号①	①	バージョン①	①
☐	● 詳細	ap1 (マスタ)		1階		192.168.1.11		SR-M630AP1		1000346		V20.05 IT0025	
☐	● 詳細	ap2		1階		192.168.1.12		SR-M610AP1		1000991		V20.05 IT0025	

3.3 チャンネル最適化の実行

- 初期設定完了後、チャンネル最適化は実行されていない状態です。
- チャンネル最適化を使用する場合は、AP設置後にチャンネル最適化の手動実行を行ってください。



①メニューの「チャンネル最適化実行」をクリック

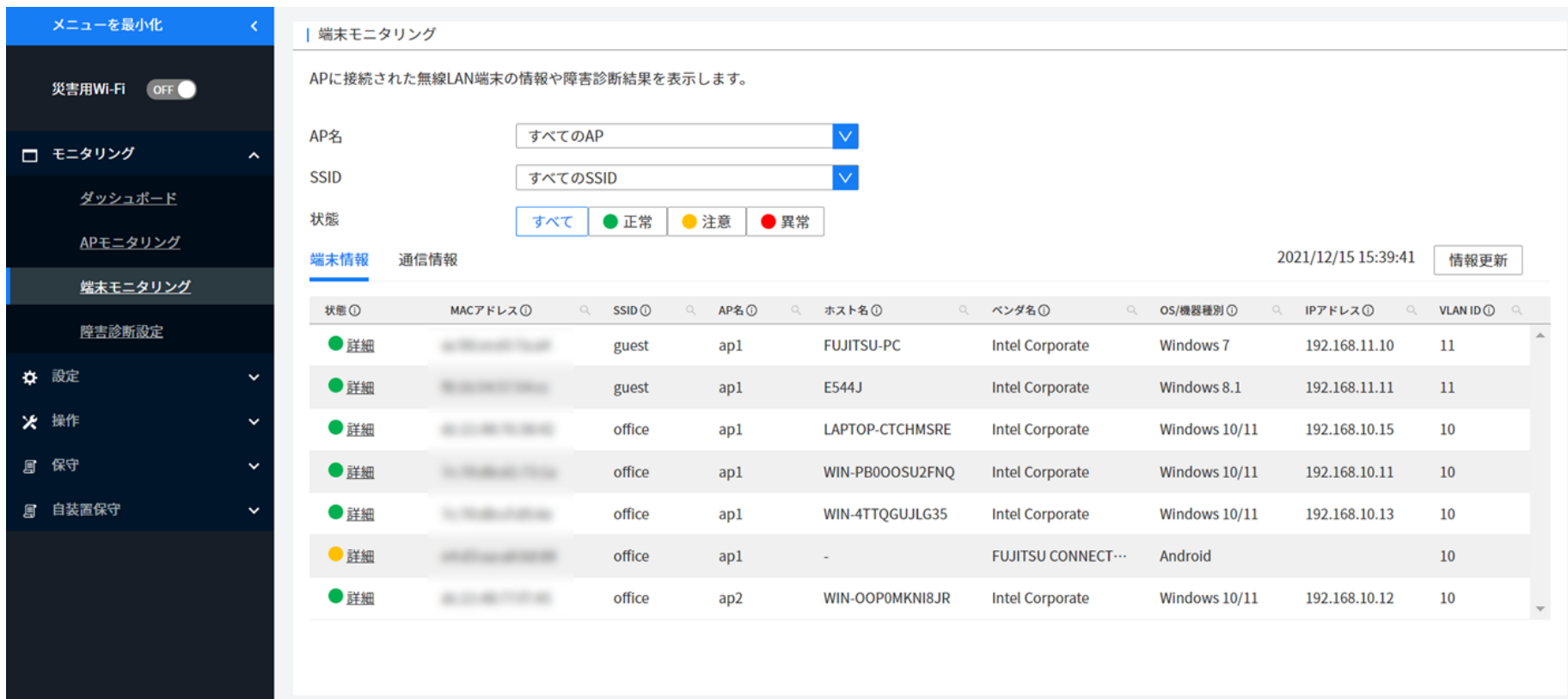
②全台に対して行うので一番上のチェックボックスをクリック

③「一括実行」をクリック

AP一覧	前回実施結果	実施状況	操作
☒ APグループ名			
☒ group1	-	定期実行しない	即時実行

3.4 端末接続の確認

- 端末をAPに接続できることを確認します。
- 端末をSSIDに接続後、AP一覧画面にてAPの診断結果が「正常」の緑マークになっていること、端末から通信ができることを確認します。



メニューを最小化

災害用Wi-Fi OFF

モニタリング

ダッシュボード

APモニタリング

端末モニタリング

障害診断設定

設定

操作

保守

自装置保守

端末モニタリング

APに接続された無線LAN端末の情報や障害診断結果を表示します。

AP名: すべてのAP

SSID: すべてのSSID

状態: すべて 正常 注意 異常

端末情報 通信情報 2021/12/15 15:39:41 情報更新

状態	MACアドレス	SSID	AP名	ホスト名	ベンダ名	OS/機器種別	IPアドレス	VLAN ID
● 詳細		guest	ap1	FUJITSU-PC	Intel Corporate	Windows 7	192.168.11.10	11
● 詳細		guest	ap1	E544J	Intel Corporate	Windows 8.1	192.168.11.11	11
● 詳細		office	ap1	LAPTOP-CTCHMSRE	Intel Corporate	Windows 10/11	192.168.10.15	10
● 詳細		office	ap1	WIN-PB0OOSU2FNQ	Intel Corporate	Windows 10/11	192.168.10.11	10
● 詳細		office	ap1	WIN-4TTQGUJLG35	Intel Corporate	Windows 10/11	192.168.10.13	10
● 詳細		office	ap1	-	FUJITSU CONNECT...	Android		10
● 詳細		office	ap2	WIN-OOP0MKNI8JR	Intel Corporate	Windows 10/11	192.168.10.12	10

